

令和7年第2回さくら市議会定例会一般質問順番

令和7年6月6日（金）午前10時～ 4人

質問順番	質問者名
1 番	大河原千晶 議員
2 番	落合千枝子 議員
3 番	加藤 朋子 議員
4 番	小堀 勇人 議員

令和7年6月9日（月）午前10時～ 3人

質問順番	質問者名
1 番	角田 憲治 議員
2 番	若見 孝信 議員
3 番	永井 孝叔 議員

1. 市長の考える、さくら市の農業について

さくら市における農業の現状と課題、そしてこれからの未来の展望について問う。

- ①市長公約の「稼げる農業」とは
- ②農業の担い手確保は。また、地域おこし協力隊は
- ③農産物の消費促進をどう考えるか。学校給食との関連は
- ④農地を守ること、利活用は
- ⑤持続可能な農業、有機農業についての考え方は

答弁を求める者 市長

1. 市長が考える、10年後の農業への展望について

- ①農業ビジネス化への市長の具体的な考え方について
- ②10年後のさくら市の農業のビジョンについて
- ③10年後の農業経営体の予想数について
- ④集積による農業経営の変化について
- ⑤農業移住者への支援策について
- ⑥新地域おこし協力隊（有機農業希望者への支援策）について

答弁を求める者 市長

2. 新給食センターオープンについて

- ①新給食センター9月オープンへの食材の確保状況について
- ②給食用食材を100%さくら市産で賄う方策について

答弁を求める者 市長、教育長

3. さくら市でラーケーションを取り入れる考えについて

- ①子供たちが平日に学校を休んで家族と一緒に校外学習などを通じて学ぶ取り組みであるラーケーションを実施する予定は

答弁を求める者 教育長

1. 市長公約を問う

この度の市長選において中村市長が主張された以下の事項について、その詳細を問う。

- ①駅近くで一時保育サービスを提供する市営施設の内容と場所は
- ②子育てモニター制度の内容は
- ③新築住宅購入地の助成金制度の内容は
- ④空き家バンクを活用したリフォーム費用の補助の内容は
- ⑤健康推進予防医療「温泉×健康プログラム」の内容は

答弁を求める者 市長

2. 持続可能な農業を目指すには

日本の農業は、担い手の高齢化、後継者不足、耕作放棄地、収益の低さ等、課題山積である。食糧の確保は安全保障の最たるものであり、当市にとって農業は基幹産業でもある。現状を踏まえて、どう課題解決に取り組んでいくのか市長に問う。

- ①後継者不足解消策は
- ②耕作放棄地対策は
- ③集団営農への取り組みは
- ④農家の手取りを増やす方策は
- ⑤農業 DX、スマート農業への取り組みは

答弁を求める者 市長

1. 市長公約の「観光名所化・地域活性プロジェクト」について

5月22日の所信表明においても、公約を基に早乙女桜並木からつながるお丸山公園やその周辺の歴史・文化を活かした街中の賑わいを創出するためのルート整備の検討とあるが、具体的な考え方を問う。

答弁を求める者 市長

2. 消防団と防災の取り組みについて

- ①消防団の現状と課題、その対応策は
- ②防災対応での情報収集と情報発信について

答弁を求める者 市長

1. 中村市長の選挙公約と所信表明について

- ①「とりもどせ氏家」とはどういうことか。考え方。
- ②トップダウンからボトムアップによる組織運営について具体的方策は

答弁を求める者 市長

2. さくら市職員の守秘義務について

- ①守秘義務の厳守に対する現状の対応策について
- ②守秘義務違反の場合の対応は

答弁を求める者 市長

1. 市長選挙の投票率について

- ①今回の市長選挙は過去最低の投票率となったが、今後の対策について見解を伺う。
- ②市長選挙では、各地区によって投票率に大きな格差が存在する。投票率の全体的な底上げのため、投票所の見直しや増設について検討してはどうか伺う。

答弁を求める者 選挙管理委員会委員長

2. 市政運営について

- ①今後4年間でさくら市をどのように進めていく方針なのか。また、公約や施策について具体策を伺う。
- ②市長の施策は、同じさくら市の分断を生むような内容が多いと考えられる。例えば駅近くの一時保育施設や産後のケアセンターの設置は、遠い地域に住む市民にとって利用が難しい。駅周辺の開発プロジェクトは、駅近くに住む住民にとっては恩恵が大きいが、各駅へのアクセスの改善が不十分なため、市全体に公平な施策だとは言えない。市長の見解を伺う。

答弁を求める者 市長

1. 福祉の充実について

各地方自治体は、地域の特性や地域ニーズに応じた福祉政策を展開しており、高齢者、障害者、低所得者など、多様な層を対象とし生活支援や社会参加の促進、格差是正を目指し各種施策を実施している。

こうした中、中村市長の「選挙公報」を見ると、「トップダウンからボトムアップ」の市政を掲げ、6つの改革プロジェクトを選挙公約としているが、その中に障害者やその福祉政策については、一切言及していない。障害者や福祉関係者からは、新市長は福祉に関心がないのかとの、不安の声が聞こえてくる。

そこで、中村市長に本市の福祉の現状や課題をどのように捉え、今後どう福祉政策を改革改善し市民の不安を払拭していくのか伺う。

また、本年4月診療分から下野市においても、宇都宮市、鹿沼市、日光市、栃木市などと同様に重度心身障害者医療費助成制度の助成方法を償還払い方式から現物給付に変更したと聞く。そこで、本市においても障害者やその家族の手続きの不便さを解消し、生活の安定と経済的負担の軽減を図るため、重度心身障害者医療費助成制度を「現物給付」方式に改めるべきと考えるが市長の考えを併せて伺う。

答弁を求める者 市長

2. 産業団地の開発について

県は、5月に産業団地の迅速な整備に向け、市町との連携を深めようと「産業団地等開発担当部長会議」を開き、現状や支援制度などの情報共有を行うとともに、6月以降、各市町を訪問して開発の意向などをヒアリングし、実情に応じた提案や情報提供を行うと聞いている。

こうした中、県は先月、上三川町から要望があった同町内の産業団地開発について事業決定した。また、高根沢町が整備を要望している新たな産業団地の開発について、同町上高根沢の約12.8ヘクタールで基礎調査を実施すると発表した。

本市においても蒲須坂産業団地の開発は喫緊の課題となっているが、今後、どのようなスケジュールで開発を進めていくのか市長に伺う。

答弁を求める者 市長

3. 選挙公約について

中村市長が選挙公約に掲げた、6つの改革（イノベーション）プロジェクトについて伺う。

- 1 教育・子育て支援の充実プロジェクト
 - ①駅近くに一時保育サービスを提供する市営施設の開設
 - ②給食費の無償化
- 2 駅周辺の開発プロジェクト
 - ①氏家駅・蒲須坂駅周辺開発
 - ②高度医療施設の誘致
- 3 住宅支援・老朽インフラ対策プロジェクト
 - ①新築住宅購入地の助成金制度の構築
 - ②道路・橋梁・公共施設の老朽化対策
- 4 稼げる農業プロジェクト
 - ①地元農産物のブランド化と販路拡大
- 5 観光名所化・地域活性プロジェクト
 - ①観光インバウンド誘致
 - ②温泉を活用した観光ルートの整備
- 6 健康・安心な未来のためのプロジェクト
 - ①20歳までの医療費無償化
 - ②災害アプリの開発

答弁を求める者 市長、教育長